



## 東京大学宇宙線研究所長 梶田隆章先生 2015ノーベル物理学賞受賞記念祝賀行事 岐阜県民栄誉大賞表彰式・飛騨市名誉市民顕彰式

1月25日（月）、2015年にノーベル物理学賞を受賞された梶田隆章先生の受賞記念祝賀行事が、長年梶田先生が研究を行ってきた神岡町内の施設で開かれました。

当日は、神岡町公民館で記念行事および式典（表彰式・顕彰式）が行われた後、地域交流センター船津座に場所を替えて祝賀会が行われました。

式典では、古田岐阜県知事から県民栄誉大賞表彰が、井上市長から飛騨市名誉市民への顕彰が行われました。

県民栄誉大賞は、学術や芸術、スポーツなどの各分野において、素晴らしい成果を挙げた場合に贈られる賞で、これまでに受賞された方は4人で、梶田先生は5人目となります。

飛騨市名誉市民は、市民や市に関係の深い方で、文化や産業などの各分野で多大な貢献をされ功績が認められ、市民が誇りとして尊敬する方を顕彰するもので、市では合併後初めての顕彰となりました。



▲梶田隆章先生、美智子夫人





▲合唱を披露する神岡中学校3年生



▲公民館前でお出迎え



▲研究総論の説明を行う梶田隆章先生



▲質問に答える梶田隆章先生、中畑雅行先生



▲神岡中学校生徒より花束贈呈



神岡町公民館前で保育園児や市民が横断幕や小旗で出迎える中、梶田先生が到着され、多くの拍手と歓声の中、会場に入られました。

記念行事では、神岡中学校3年生による合唱「夢みたものは」と「大地讃頌」が披露され、会場は祝福ムード一色に包まれました。その後、「スーパーカミオカンデ」の映像が上映され、梶田先生による研究総論の説明や神岡宇宙素粒子研究施設長の中畑雅行先生による研究の紹介が行われました。

質疑応答では、中学生からの「長い間の研究で心が折れそうになったことはありませんでしたか。どうやって乗り越えましたか」との問いかけに、「2001年に最初の観測を終えた時に大事故が起き、光電子増倍管が6,770本も壊れてしまいとてもショックでしたが、当時研究を主導されていた戸塚先生のもと、研究者全員が心を一つにしてくれたことで立ち直ることができました」と話されました。

お二人の先生は、「研究を行うにあたり、岐阜県、飛騨市の皆さんに大変お世話になりました。今後ご支援をお願いします」と述べられました。



▲道の駅スカイドーム神岡を訪れ、熱烈な歓迎を受ける。

## 梶田隆章先生 スカイドーム神岡へご来館!

梶田隆章先生は1月25日、午前中にスカイドーム神岡へご来館され、多くの市民から歓迎を受けました。

スカイドームは、スーパーカミオカンデのレプリカや光電子増倍管などが展示され、スーパーカミオカンデと縁の深い場所で、小柴昌俊東大特別荣誉教授もノーベル物理学賞受賞後に来館されています。

梶田先生は、研究者などの著名人が来館時にサインしているドアの横に「長年に亘り研究をささえていただき、どうもありがとうございました」と感謝のメッセージを書き込み、「小柴先生と戸塚先生と並んで書けることは光栄でありがたい」と話されました。

その後、飛騨神岡高校俳句部の生徒から俳句や花束の贈呈がありました。

## 市内は祝賀ムードに包まれました



▲祝賀ムードに包まれた市内



▲受賞記念シールが貼られた特産品



▲左から中齋くん、堀之上さん、野村さん

2月5日、古川中学校の校長室で、梶田隆章先生ノーベル物理学賞受賞記念の下敷きの贈呈セレモニーが行われました。

この下敷きには、梶田先生のニュートリノ研究の歴史などが掲載されており、市内の小中学校の全児童生徒に贈呈されました。

セレモニーでは、井上市長から市内小中学校を代表して同校生徒会長の堀之上さや子さん、副会長の中齋快清くん、書記の野村あさひさんに記念品が手渡され、井上市長は「飛騨市に住んでいることに誇りを持ち、夢を持って勉強に励んでください」と話し、生徒たちは「飛騨市のために貢献できるよう頑張ります」と語りました。

# ノーベル物理学賞受賞

岐阜県民栄誉大賞  
飛騨市名誉市民

## 梶田 隆章 教授

Dr. TAKAAKI KAJITA

### 略歴

- 1959年 埼玉県生まれ
- 1981年 埼玉大学理学部物理学科卒業
- 1986年 東京大学大学院博士課程修了（理学博士）  
東京大学理学部附属素粒子物理国際研究センター助手
- 1988年 東京大学宇宙線研究所助手
- 1992年 東京大学宇宙線研究所助教授
- 1999年 東京大学宇宙線研究所教授  
同研究所附属宇宙ニュートリノ観測情報融合センター長
- 2007年 東京大学国際高等研究所カブリ教団連携宇宙研究機構主任研究員兼務
- 2008年 東京大学宇宙線研究所長

### 学術賞

- 1988年 朝日賞（「神岡観測グループ（代表者：小柴昌俊）」として）
- 1989年 ブルーノ・ロッシ賞（米国）（「カミオカンデ実験チーム」として）
- 1999年 朝日賞（「スーパーカミオカンデ観測グループ（代表者：戸塚洋二）」として）  
第45回仁科記念賞
- 2002年 パノフスキー賞（米国）
- 2010年 第1回戸塚洋二賞
- 2012年 日本学士院賞
- 2015年 ノーベル物理学賞  
基礎物理学ブレークスルー賞

### 栄典

- 2015年 文化勲章 文化功労者

### 梶田隆章先生からのメッセージ

岐阜県民の皆様へ

皆さんが温かく、歴史と  
自然が豊かな岐阜県  
で研究できて幸せです。

飛騨市民の皆様へ

長年に亘り神岡地下  
での研究を支えていただき、  
たいへん感謝しております。

平成28年1月4日

梶田 隆章

© 東京大学宇宙線研究所 神岡宇宙素粒子研究施設